

新宮山彦ぐるーぷ第1836回―1

## 持経宿・改造ストーブ排煙煙突据付作業など

◇実施日：平成27年09月12日(土) 快晴

◇参加者：川島 功、児嶋道夫、沖崎吉信。 計3名。

計画していた医療法人「やまびこ会」の道普請・懇親会(12日～13日)は、台風18号の林道等への影響が懸念され早めに中止になった。

台風18号は、愛知県に上陸したため、台風の進行方向西側になり想定より影響が少なく、この所の朝晩の冷え込みもあり、暖が取れる様に持経宿の改造ストーブ排煙煙突と薪小屋扉据付作業などすることにした。

児嶋車には、奈良森林管理事務所の委託を受けた業者の間伐材作業時の端材丸太は、4月頃に新宮へ運び、この程薪割りした薪と台風18号の豪雨による林道路面悪化が懸念され、路面補修のツルハシ・ジョレンを積み池郷林道へ。

石ヤ塔近くに来た時に、池郷林道ゲートの鍵を自転車に置き忘れた事に気付き引返し、本日行仙宿へ入宿する梶野・青木氏から鍵を借りようと8時半過ぎに現在地を確認すると、五條市、橿原市辺りで約1時間半強かかるとの事から、沖崎氏へ林道ゲートの鍵を池原スポーツ公園へ持って来て欲しいと連絡依頼し了承を得て、しばらく池原スポーツ公園で待機。

スポーツ公園・土曜日には、朝市の日で野菜等が販売されており、柿餅を買う等して待機する。

遅いと思った青木・梶野車が、10時10分頃に駐車場に到着。青木氏に勧誘された鈴木氏の紹ある。そこへ単車の沖崎氏が鍵を持って到着。お陰様で助かりました、本当にありがとう。

青木・鈴木・梶野、遅れて奈良の山口氏が行仙宿へ、我々児嶋

車と単車の沖崎氏は持経宿へと向う。

林道ゲートから約1.5km迄は、雨水が流れて路面は更に荒れていたが、ゆっくり走行すれば通行可能である。

三叉路の廃材置場から、薪小屋扉枠に使う廃材タルキ4本を抜き積んで持経宿に11時過ぎに到着、鍵忘れて2時間のロスだ。

トラックの薪は、薪小屋が満杯なので、不動堂裏にブルーシートで覆える様にして沖崎・川島が積込む。怪我の功名？沖崎氏が急遽応援して下さり、薪運びがはかどる。

児嶋氏は、組立てた改造ストーブを分解し、土台の耐火レンガをレベル合わせして再度積み、レンガに鉄アングルの型枠をしてレンガがズレないようにされる。

再度ストーブ鉄板を組立て、ストーブ底の鉄板と耐火レンガの隙間に耐火セメントを煉って塗り固め、前回組立てた際の煙漏れが無い様にされる。



不動堂裏に積んだ薪 改造ストーブ組立 排煙煙突据付中

沖崎氏は、不要カーペット類、トタン切れ・ワイヤー等の鉄屑類、余分なブルーシートを持帰り処分するためトラック荷台へ。

川島は、ステンレス雨水槽排水側に隠し板を打付け。

そこへ白谷トンネル東口から登り、小倒木処理をして来た言う奈良県高取町の辻さんが来宿され昼食。当会へ加入して手伝いたいの事から、名刺を渡し連絡先を教えて貰う。

12時過ぎとなり、陽当りのある野外ベンチで昼食。  
昼食後、川島は、薪小屋扉の縦椋に廃タルキを178cmに4本切り、現物合わせして調整する。横椋は胴縁材を約71cm弱に10本切る。沖崎氏は、14時前に下山。

川島・児嶋氏で排煙煙突の接続と固定をして、ストーブの試し焚きをする、煙の漏れも無くスムーズに排煙された。

火傷防止の木製ガードを取り付けて、改造ストーブは使用可能となった。来週から4連休であり、これから日増しに冷え込み前にストーブが使用可能となり、より快適な持経宿になった。

青木氏が8月下旬に殺鼠剤と吸着シートによるネズミ駆除が（ヒメネズミ6匹捕捉）なされ、下山の際置いていた殺鼠剤と吸着シートを確認すると、食べられていなくシートへの捕捉も無く、とりあえずヒメネズミは駆除された様である。



改造ストーブ据付完了 本日の作業者

鍵忘れによる時間ロスにより、薪小屋扉据付が出来ず、扉枠材を持帰り次回扉を組立て持参する事にして、15時過ぎに持経宿を下山し帰新する。

### 行動タイム

新宮 6:40 → 8:00 池原スポーツ公園 → 8:25 石ヤ塔手前で引返す  
↓ 8:50 池原スポーツ公園(鍵待ち) 10:15 → 11:10 持経宿 → 12:10 昼食  
12:40 → 作業 → 持経宿 15:10 → 16:05 池原スポーツ公園 → 17:25 新宮。  
(記 川島)